



# JPI催しのご案内

**2022**  
**9**

公益社団法人日本包装技術協会

**— 2022年度の本催しについて —**2022年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で  
皆様に情報発信をさせていただきます。**●開催要領****日 時** ①令和4年9月21日(水) 13:00～15:00 / ②令和4年9月22日(木) 10:00～12:00  
③令和4年9月28日(水) 10:00～12:00 / ④令和4年9月30日(金) 15:00～16:30**参加費** JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名**①9月21日(水) 13:00～15:00 JPI本部主催****【テーマ】デザイナーでもアーティストでもないエンジニアが語るデザイン思考とアート思考 ～人間中心設計からの提案**

- ・イノベーションに向けてデザイン思考が注目されて十数年、最近ではアート思考など様々な思考法が話題になっています。デザイン思考やアート思考をよく見ると、エンジニアとして見慣れた方法が見えてきます。ISOやJISを参考にしている二つの思考の説明から、それらを身近なものとして活用していただきたいと思えます。
- ・ここではイノベーションを「新結合で新価値を創造し、それを社会に広めること」と定義します。デザイン思考は「顧客のニーズ」「技術の可能性」「ビジネスの成功」を統合させてイノベーションを進める一連の過程です。アート思考はデザイン思考と本質は同じですが、「顧客のニーズ」ではなく「自分の興味」を出発点にしています。
- ・上記の一連の過程は、ISO9241-210で定められている「人間中心設計」に沿って考えると、容易に理解できます。その理由は、この「人間中心設計」の過程が品質改善活動等で馴染みのあるPDCAサイクルに類似したものであるからです。
- ・デザイン思考に関連して、経済産業省は2018年に「デザイン経営宣言」を提言しました。それに先立って、経済同友会は2011年に「世界でビジネスに勝つ『もの・ことづくり』を目指して」という提言をしていました。それら提言を参考に組織と個人の位置づけを考え、これらの思考を活用していく一助としていただくと幸いです。

【講師】尾崎技術士事務所

尾崎尚武氏

**申 込 要 領**

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までお願いいたします。

**個人情報の取扱いについて**

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

**参加申し込み方法と注意事項**

- ・本催しはwebを使用しているオンライン講演会（ウェビナー）になります。  
申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>**◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆**〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970  
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>**JAPAN PACKAGING INSTITUTE**

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

② 9月22日(木) 10:00~12:00 JPI本部主催

### 【テーマ】 容器包装リサイクルの現状と課題

「プラスチックに係る資源循環の促進等に係る法律」(以下プラ新法)の施行等、この数年で私たちの生活の中で容器や包装等のゴミに関する話題が増えてきました。容器包装リサイクル法(以下容リ法)は、私たちの日常生活の中で家庭ごみとして出される使用済みの容器や包装に関する身近なものを対象としている法律です。本講演では、容リ法や容器包装がどのようにリサイクルされているか、その成果と課題について。また、プラ新法施行に伴う容器包装リサイクルへの影響などについて解説致します。

【講師】 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 代表理事専務  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 プラスチック容器事業部 課長

西山純生氏  
清水健太郎氏

③ 9月28日(水) 10:00~12:00 JPI関西支部主催

### 【テーマ】 食品接触材料規制の課題と企業の対応

日本は、2020年6月に樹脂のPL制度化を施行したが、厚労省は早くもPL改編案を打ち出した。PL適合証明の取り交わしは、海外メーカーでは難航も見られる。乳等省令は告示第370号に統合されたが、規格値の見直しは今後の課題である。懸案の再生プラスチックの審議は、部会を開催したものの承認か認可かは不鮮明であり、食品安全委員会の審議も未定である。ASEANは、EU類似の法整備を表明した。本講では、食品接触材料規制を巡る国内外動向と企業の対応に関し紹介する。

【講師】 西包装専士事務所 代表

西秀樹氏

④ 9月30日(金) 15:00~16:30 JPI本部主催

### 【テーマ】 食品包装関連製品のご紹介 ~ガスバリア性接着剤「マクシーブ®」について~

食品包装関連製品に採用中の弊社製品群についてご紹介いたします。その一つであるガスバリア性接着剤「マクシーブ®」は接着剤層にガスバリア機能を付与可能であることに加え、蒸着フィルムと組み合わせることでガスバリア性の大幅な向上と屈曲後のバリア性低下を著しく抑制できるという特長があります。この特長が受け入れられ、食品包材用途や工業用包装材用途での採用が進んでいます。さらに、環境規制が厳しくなる中で、注目を浴びているモノマテリアル包材といったサステナブルパッケージ用途への適用が今後期待できます。包装材料に求められる品質、安全性、環境適性、機能性等を念頭に置きつつ、昨今のトレンドである賞味期限延長による食品ロス削減、プラスチック使用量削減によるCO<sub>2</sub>排出量削減、リサイクルが容易であるモノマテリアル包材への適用といったサステナブルパッケージ向けソリューションとしてマクシーブ®の可能性についてご紹介いたします。

【講師】 三菱ガス化学株式会社 平塚研究所・主任研究員  
三菱ガス化学株式会社 平塚研究所

河野和起氏  
小林菜穂子氏

### 参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会(ウェビナー)になります。  
申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いいたします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>